

出資金ふやし頑張ろう!

# あかるいまち21

No.997号 2017年3月22日 組織部 TEL082-532-1264

	3月累計	4月～2月
組合員ふやし	57人	1,230人
出資金ふやし	336万円	1億1,804万円
純増	▲759万円	1,950万円

## 高齢者の使える福祉サービスってなにがあるん?!

3月16日(木)、己斐支部にて安心サポート講座「高齢者の利用できる福祉サービス」をテーマに学習会を行い、23名の参加がありました(組合員17名と地域住民6名)。講師は、運営委員さんのご紹介で広島市健康福祉局地域福祉課・主幹の長瀬文彦氏にお越しいただき、時折冗談も交えながら大変わかりやすく説明をしてくださいました。



在宅福祉サービスには、「あんしん電話」「配食サービス」「自動消火器」「住まいのバリアフリー化費用補助」等。

介護者の負担軽減には「介護用品(紙おむつなど)の支給」や「家族介護慰労金」「家族介護教室の開催」「成年後見制度の利用支援」等がありました。高齢者が生き生きと住み慣れた地域で安心して暮らしていくうえで大切な福祉サービスの役割について学びました。

今、生協では各地域に高齢者の集える居場所「サロン」の開催を呼びかけていますが、今回のような広島市の行っている事業について学ぶことも大切だと実感しました。市の制度を上手に利用しながら、自分たちでも高齢者の住みやすいまちづくりを行っていきたいと思います。

## 東区南支部 あけほの班 「ライオンの声にびっくり!」



東区あいあいプラザ「ぴよぴよクラブ」の子どもたちに、東区南支部曙班による絵本の朗読と、渡辺さん・吉岡さんのお二人によるヴァイオリン演奏を披露しました。

メンバーが練習しながら会場で待っていると、子どもたちが元気にやって来ました。最初はざわざわしていた子どもたちですが、お話が始まると、じっと聞き入っている様子でした。朗読が終わると、子どもたちは口々に「楽しかった!」と言ってくれ、「どこが良かった?」と聞くと、「ライオンの声にびっくりした!」との声。リクエストに応じて、ライオンがまた『うおおお〜!!』と迫力満点に吠え、子どもたちはキャッキヤと大喜びでした。



その後、ヴァイオリンで子どもたちもよく知っている曲を演奏してもらい、最後は「さんぽ」をみんなで元気よく歌いました。いつもの読み聞かせとは違う“朗読”が、子どもたちにとっては新鮮で、きっと良い思い出になったと思います。

こうした地域とのつながりを、いろいろな形で作っていただけたいですね♪

協同組合がよりよい社会を築きます



広島中央保健生活協同組合